

合唱団フォンス・フローリス 第9回コンセール・スピリチュエル  
Choeur Fons Floris Concert Spirituel



芸術文化振興基金

合唱団設立10周年記念

# フランス・バロックの祝典

マルカントワーヌ・シャルパンティエ  
モーロワ氏のためのミサ

ジャン＝バティスト・リュリ  
テ・デウム

Marc-Antoine Charpentier (1643-1704), Messe pour Mr Mauroy H.6  
Jean-Baptiste Lully (1632-1687), Te Deum LWV 55

2016年  
8月21日(日) 午後2時(1時30分開場)  
上野学園 石橋メモリアルホール

独唱と  
管弦楽

古楽アンサンブル コントラポント

古楽アンサンブル「プティ・ヴィオロン」[PV]

ソプラノ dessus 花井尚美 染谷熱子 オートコントル hautes-contre 中嶋克彦 小沼俊太郎

テノール tailles 富本泰成 村上惇 バス basses 春日保人 西久保孝弘

ヴァイオリン dessus de violon 小野萬里 丸山韶 丹沢広樹 出口実祈[PV]

ヴィオラ hautes-contre/tailles/quintes de violon 阿部まりこ 上田美佐子 深沢美奈 佐藤駿太[PV]

阪永珠水[PV] 石井弓奈[PV] バス・ド・ヴィオロン basses de violon 西澤央子 十代田光子 島根朋史[PV]

リコーダー flûtes a bec 太田光子 菅沼起一[PV] オーボエ hautbois 尾崎温子 森綾香

ファゴット bassons 鈴木禎 長谷川太郎[PV] トランペット trompettes 斉藤秀範 霧生貴之

ティンパニ timbales 井出上達 テオルポ théorbes 金子浩 上田朝子[PV] オルガン orgue 能登伊津子

チケット料金

前売¥4,000 当日¥4,500 学生¥2,500\*

全自由席 \*学生券は、学生証を提示のうえお求めください

前売券取扱

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

(セブン-イレブンでの引き取り可能)

東京古典楽器センター 03-3952-5515

サンパウロ(四谷駅前) 03-3357-8642

問い合わせ 大塚(10~17時)

mobile 090-2525-0874 email otsuka@fonsfloris.com

主催:株式会社フォンス・フローリス 合唱団フォンス・フローリス  
助成:芸術文化振興基金

合唱 合唱団フォンス・フローリス 指揮 花井哲郎

合唱団フォンス・フローリスは今年創立10周年を迎えます。フランス・バロックの宗教音楽に特化して年1回の演奏会を続けてきました。これを記念して、シャルパンティエとリュリという、17世紀フランスを代表する二人の作曲家のそれぞれ記念碑的な作品を演奏します。シャルパンティエ「モーロワ氏のためのミサ」は、シャルパンティエのミサ曲の中でももっとも長い作品です。活力あふれる合唱と、室内乐的な編成の器楽を伴う独唱・重唱が交互に現れ、とても変化に富んでいます。大きな行事にふさわしいリュリの「テ・デウム」は、小合唱と大合唱、トランペットを含む管弦楽が、神への壮麗な感謝を歌い上げます。8名の独唱者、本格的な古楽アンサンブル コントラポントに、新進若手音楽家たちに

よる古楽アンサンブル「プティ・ヴィオロン」のメンバーが加わり、豪華な響きをお楽しみいただけることと思います。



演奏会の様子 石橋メモリアルホールにて

## 合唱団フォンス・フローリス Chœur Fons Floris

フランス・バロックの宗教音楽を専門とする合唱団。フォンス・フローリス古楽院の受講生、また花井哲郎指導団体が中心となって、2006年にプロジェクト合唱団として発足、2011年より独立した合唱団として再スタートした。東京と関西でそれぞれ練習を進め、合同で演奏会を開催する。フランス語的なラテン語発音、イネガルや装飾法など、フランス・バロックに固有の演奏法にこだわって練習に励んでいる。今まで、シャルパンティエ、リュリ、ド・ラランドらの、主にグラン・モテを演奏してきている。

ホームページ <http://www.fonsfloris.com/choeur/>

## 古楽アンサンブル コントラポント Contraponto -Ensemble for Early Music

花井哲郎をリーダーとして2005年に結成された古楽声楽家、古楽器奏者によるアンサンブル。17世紀を中心に、後期ルネサンスからバロックの宗教音楽をレパートリーとする。2010年に合唱隊を併設。プログラムによって、各パート一人ずつの器楽・声楽によるアンサンブル、ア・カペラの合唱、そして独唱、合唱にバロック・オーケストラという形態まで、それぞれの作品にふさわしい編成をとる。作品の持つ可能性を最大限に引き出すために、時代・地域に固有の演奏様式に徹底的にこだわった演奏、また声楽家と器楽奏者が音楽のみならず「音」そのものに対するイメージを共有して、各自の独創性を生かしながらも「対位的に」一体となった演奏を目指している。

これまで取り組んできた音楽は、ビクトリア、ジェズアルドといったルネサンス音楽、ガブリエリ、モンテヴェルディなどヴェネツィア宗教音楽の黄金時代、ドイツ・バロックの3大Sシャイン、シャイト、シュッツ、スペインのピリヤンシコと18世紀イエズス会宣教師時代ラテン・アメリカの宗教作品、フランス・バロックの作曲家シャルパンティエ、デュ・モン、クープラン、ド・ラランドなど、多岐にわたる。ホームページ <http://www.fonsfloris.com/c/>

## 花井 哲郎 Tetsuro Hanai (指揮・指導)

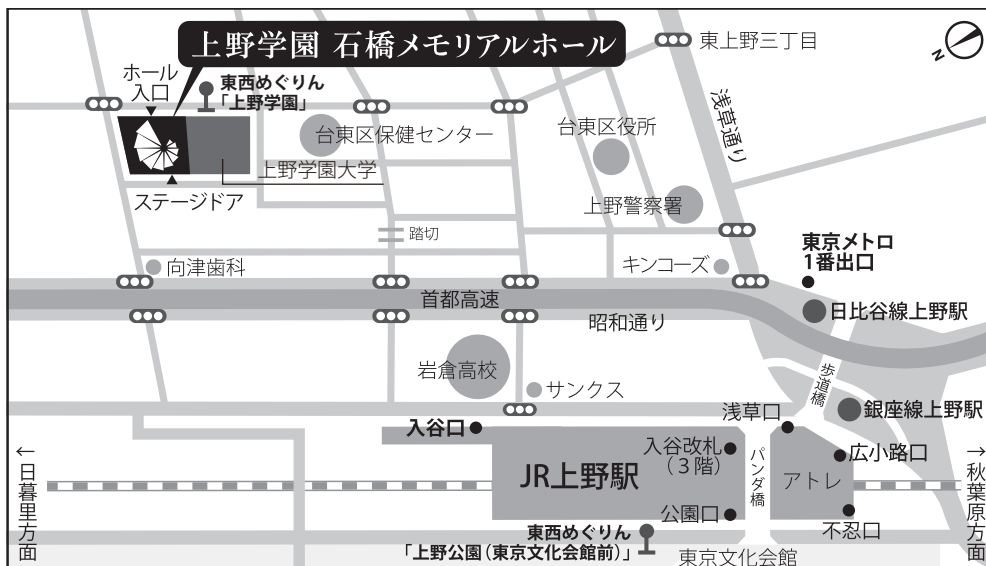
古楽演奏家。早稲田大学第一文学部哲学専攻卒業後、アムステルダム・スウェーリンク音楽院にて、オルガンとチェンバロを学ぶ。ロッテルダム音楽院において合唱指揮と管弦楽指揮のディプロマを取得。ブラバント音楽院にて古楽声楽アンサンブルをレベッカ・ステュワートに師事。滞欧中、教会音楽家、合唱指揮者、鍵盤楽器奏者として活動し、またグレゴリオ聖歌の研究・演奏活動にも従事する。1997年に東京にて「ヴォーカル・アンサンブル カペラ」を創設、以来ルネサンス・フランドルの宗教作品の演奏を続ける。2005年には「古楽アンサンブル コントラポント」を結成、リーダーとして17世紀を中心としたバロックの宗教音楽演奏にも力を注ぐ。また、古楽をレパートリーとするアマチュアのアンサンブル、合唱団、管弦楽団などを指導するほか、グレゴリオ聖歌とルネサンス音楽の普及活動を行う。

フォンス・フローリス古楽院院長、国立音楽大学講師。

## 古楽アンサンブル「プティ・ヴィオロン」

佐藤駿太が主宰する、古楽アンサンブル。名称の由来はジャン＝バティスト・リュリが率いた精鋭楽団 (Petits Violons) より。その名の通り少数精鋭による質の高いアンサンブルを目指し、主にバロック時代フランスのレパートリーを中心に活動を展開している。演奏するジャンルは世俗の劇場作品、舞曲、エール・ド・クール、カンタータから、教会のグラン・モテ、ルソン・ド・テネブルまで多岐にわたる。

ホームページ <http://petitsviolonsbaroq.wix.com/>



上野学園 石橋メモリアルホール  
〒110-8642 東京都台東区東上野4-24-12  
学校法人上野学園内

- JR各線「上野駅」入谷口から徒歩8分
- 東京メトロ・日比谷線／銀座線「上野駅」1番出口から徒歩8分

※ 駐車場・駐輪場はございません。  
公共交通機関をご利用ください。